

令和5年度 一番茶実収報告

佐賀県茶業試験場

1. 摘採日

本 年	前 年	前5か年平均
4月 26日 (予備園 4月28日)	5月 1日	4月 28日

2. 生葉収量 (kg/10a)

本 年		前 年		前5か年平均	
収 量	指 数	収 量	指 数	収 量	指 数
564.3 ± 64.5 (予備園 570.2 ± 68.7)	101(97)	580.9 ± 108.0	104	560.2 ± 51.2	100

注) 指数は、前5か年平均を100とした値であり、本年の括弧内の値は前年比を示す

3. 百芽重 (g)

本 年		前 年		前5か年平均	
重 量	指 数	重 量	指 数	重 量	指 数
70.3 ± 3.1 (予備園 86.5 ± 12.6)	96(105)	67.1 ± 10.0	92	73.0 ± 6.9	100

4. 新芽数 (本/m²)

本 年		前 年		前5か年平均	
芽 数	指 数	芽 数	指 数	芽 数	指 数
1331 ± 193 (予備園 969 ± 116)	110(119)	1116 ± 259	92	1211 ± 152	100

5. 出開度 (%)

本 年	前 年	前5か年平均
22.3 ± 8.0 (予備園 19.4 ± 1.4)	26.2 ± 15.4	29.0 ± 8.0

6. 作況調査園の概要

- 1) 摘採日は、4月26日で前年より5日、前5か年平均より2日早かった。
- 2) 本年の生葉収量は564kg/10aで、前年より3%少なく、前5か年平均並であった。百芽重は70.3gで、前年より5%多く、前5か年平均より4%少なかった。1m²当たりの新芽数は1331本で、前年より19%、前5か年平均より10%多かった。
出開き度は22.3%で、前年より3.9%、前5か年平均より6.7%低かった。

7. 本県の概要

現場における新芽の生育は、前年と比べて萌芽は早かったがその後の生育は緩慢であった。また、芽のばらつきが大きかったことから収量は少なく、葉色が薄い茶園が多かった。4月上旬の低温により一部で霜害、4月中・下旬の強風により被覆資材のあおりによる風傷が生じた。病害虫は、特にカンザワハダニおよびチャトゲコナジラミの発生が非常に多くみられ、その他にマダラカサハラハムシの食害も散見された。

(参考)

気象概況 (2023年1月上旬～4月下旬、嬉野市)

観測点：嬉野アメダスポイント

